

第11回有床総合病院精神科フォーラム

メインテーマ 「いま総合病院精神科に求められるもの」

日時：2008年7月12日（土） 10:00 ～ 17:00

場所：大阪赤十字会館(大阪市中央区 大阪府庁北側 最寄駅 京阪・地下鉄「天満橋」駅)

参加費：医師 2000 円、医師以外 1000 円

開 会 ：10 時 00 分

開催挨拶：10 時 00 分～10 時 30 分

本田 孔士（大阪赤十字病院院長）

吉田 佳郎（実行委員長）

吉本 博昭（有床総合病院精神科委員会委員長）

黒澤 尚（日本総合病院精神医学会理事長）

来賓挨拶：切池 信夫（大阪市立大学大学院医学研究科教授）

名越 究（厚生労働省精神・障害保健課）

総合司会：笹本 彰彦（大阪赤十字病院）

第一部「総合病院精神科でできること」（10 時 30 分～11 時 55 分）

座長：大阪市立大学付属病院神経精神科 井上 幸紀

大阪府立急性期総合医療センター 松永 秀典

演題3題（発表20分 質問5分）

「摂食障害の治療におけるネットワーク」

切池 信夫（大阪市立大学大学院医学研究科 神経精神医学教授）

「総合病院における緩和ケアチーム」

津田 真（大津市民病院 精神・心療内科・緩和ケア科部長）

「臨床研修制度と精神科医師育成（総合病院精神科における研修教育の意義）」

来田 誠（大阪赤十字病院 精神神経科後期研修医）

松村 理司（洛和会音羽病院 院長）

来賓挨拶（12 時 00 分～12 時 10 分 10 分）

森田 高（参議院議員 富山県選出 医師）「医療の再生をめざして」

お昼休み（12 時 15 分～13 時 30 分 75 分）

【ポスター展示】「退院支援 ～患者のQOLの向上を目指して」

大阪市・大阪府精神科医療施設 看護部（12 時 30 分～13 時 10 分 40 分）

「大学病院における退院支援のとりくみ」（大阪大学病院）

「精神科身体合併症病棟における二年間の患者の動向」（浅香山病院）

「退院支援のとりくみ」（大阪赤十字病院）

【応募施設からのクリニカルパス展示】

【有床総合病院精神科委員会委員長報告】（13時10分～13時30分 20分）

「総合病院精神科が大きな役割を求められているオーストラリア」

ーオーストラリア精神医療視察よりー 吉本博昭（富山市民病院精神科部長）

午後の部

来賓挨拶（13時30分～13時40分）

大阪精神科病院協会会長 河崎 建人（河崎会水間病院院長）

大阪精神科診療所協会副会長 堤 俊仁（つつみクリニック院長）

第二部「いま総合病院精神科に求められるもの」（13時45分～15時25分）

座長：大阪市総合医療センター 豊永 公司

大阪赤十字病院 吉田 佳郎

演題4題（発表20分 質問5分）

「大阪市の精神科医療と総合病院精神科」

古塚大介（大阪市こころの健康センター所長）

「総合病院精神科に求めるもの～精神科病院より」

澤 温（さわ病院院長・日本精神科救急学会理事長）

「救急医療における精神医学的問題」

池内 尚司（大阪府立急性期・総合医療センター 救急診療科主任部長）

「総合病院精神科のあり方をさぐる」

山岸 洋（北野病院 神経精神科部長）

休憩（15時30分～15時45分）

指定討論（15時50分～16時10分）

稲垣 俊雄（稲垣診療所院長）

柏木 一恵（浅香山病院 精神保健福祉士）

討論（第二部）（16時10分～16時40分）

第二部シンポジストと参加者との質疑応答

次期有床フォーラム実行委員長挨拶（16時45分）

閉会の挨拶（16時50分）

閉会：17時00分

懇親会：ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）1階「ユイマール」

（17時10分～19時00分 約2時間）

参加費：医師3000円、医師以外2000円